

令和4年2月（第11回）役員会議事要旨

日時 令和4年2月28日（月）13:00～13:28

場所 （ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を利用）

出席者 9/9

榎野学長、高橋理事、舟橋理事、那須理事、前田理事、袖山理事、阿部理事
佐藤理事、藤原理事

欠席者 なし

陪席者 青山監事、大原監事

○ 議 事

1 審議事項

(1) スペースの利用区分の変更（案）について

袖山理事から、資料1に基づき、全学管理スペースを全学共同利用スペースに変更することで利用促進するとともに収入増のため、新技術研究センター（津島北キャンパス）及び産学官融合センター（芳賀キャンパス）のすべての教育研究スペースを全学共同利用スペース（オープンラボラトリー）として利用区分の変更を行うこととしたい旨提案があり、また、本件変更後は、研究担当理事のもとで有効に活用することとなる旨の補足説明があり、審議の結果、承認された。

このことに関し、外部理事から、当該変更に伴い現段階における利用予定について質問があり、那須理事から、今後利用が見込まれる事案がいくつかある旨回答があった。

2 報告事項

(1) 令和3年度実施大学機関別認証評価評価結果（案）について

高橋理事から、資料2に基づき、本学が大学評価基準に適合している旨の評価結果（案）が提示されたが、当該評価結果に対する意見申立てはしないこととした旨の報告の後、改善を要する点として基準5-3は、一部研究科で実入学者数が入学定員を大幅に下回っていることが指摘されたこと、今後の留意点として、①令和3年度の自己点検・評価の結果について今年12月までに公表すること、②各教員が有する学位及び業績を公表すること、③来年度以降適切な内容のシラバスを明示するよう提示されている旨説明があった。続いて、今回の認証評価の主な反省事項として、①認証評価制度に関する国の動向を把握し本学における内部質保証体制の確立が必要であったこと、②大学改革支援・学位授与機構の求める水準と本学の現況を比較し課題を整理し改善を図るために、部局横断でワーキンググループを設置するなど全学的に取り組む体制整備の必要があったこと、③法人評価の現況分析結果を速やかに全学展開し、対策を講じる必要があったことがその課題であったと考えている旨の報告があった。

また、今後の自己点検・評価に関する計画として、①令和3年度の自己点検・評価の結果について、新たに策定した内部質保証体制のもと公表に向けた準備を行い、令和4年12月に公表する予定としていること、②組織の新設・改組に関する自己点検・評価として、ヘルスシステム統合科学研究科の状況を確認することの説明があった。続いて、令和4年度からの体制整備として、①エビデンスに基づく自己点検・評価を毎年度実施し、評価・改善のプロセスを公表することとしていること、②年度計画並びに中期目標・中期計画の進捗管理を行うこと、③認証評価の内部質保証を機能させること、④自己点検・評価に関する全体スケジュールを管理すること、⑤これらの実施に当たり、評価センターの体制整備を行うため、専門家を入れた組織の設置や事務的サポート機能の強化などを検討する予定としていることの説明があった。

(2) 共同研究講座の設置について

那須理事から、資料3に基づき、令和4年4月1日付けで設置することとした医歯薬学総合研究科の共同研究講座「むくみを科学する先進リンパ講座」の設置目的及び研究内容等について報告があった。

3 その他

(1) 先端治療・臨床検査センター等整備運営事業の検討について (※陪席制限)

学長から、当該事業に関する事業協定を締結している者との交渉状況に関して報告を行った。

(本件は、本学としての対応等に関する審議過程の案件であることから、詳細な記載は省略する。)

(2) 次回開催日について

今回は、3月28日(月)13時00分から開催することとなった。

以上